

令和8年度 第1回今泉小学校学校運営協議会議録

日 時：令和8年5月1日（金）13:30 から

場 所：海老名市立今泉小学校 CS ルーム

出席委員9名 【欠席】久保谷委員

1 開 会

2 あ い さ つ

3 委 嘱 状 交 付

4 委員自己紹介

5 委員長・副委員長選出

委員長に木島委員を、副委員長に守屋委員を選出。

6 議 事

（1）学校運営協議会について

中島委員から、運営協議会、地域学校協働本部・活動について説明。

【山崎委員】協働本部はどこに設置されているのか。

【中島委員】海老名市では、小学校に設置されている学校応援団が該当。

【木島委員長】学校応援団の会議で、学校の依頼について共有したり、地域の人材を探したりなどしている。この地域には、声をかけると協力してくれる土壌がある。

（2）学校の様子について

（3）学校運営の基本方針について

資料をもとに、山田委員から説明。

【和泉委員】教育目標は昨年度と変更があるか。

【山田委員】昨年度と変更はなく、継続している。

【和泉委員】フルインクルーシブの取組について、県内他市町村はどう取り組んでいるか。

【山田委員】県内では、インクルーシブ教育は進めているところはあるが、「フル」とつけているのは海老名市だけである。

【和泉委員】11月の県内シンポジウムは県が主催するのか。

【山田委員】県からも参加はあるが、市が主催である。海老名市の取組、本校の取組について発表する予定。

- 【和泉委員】 グランドデザインについては、複数年度の目標でもよいと感じる。また、数年後に、フルインクルーシブという言葉が浸透し、グランドデザインにも入ってくるとよい。
- 【坂本委員】 「学力づくり部」などの部には、教員が所属し、専門的なことをしているのか。
- 【山田委員】 それぞれの部に教職員が所属し、そのメンバーで課題解決を目指している。
- 【坂本委員】 先生方にも得意不得意があると思う。大人にも苦手なことがあるとこどもに見せることもインクルーシブな教育だと思う。大人にとってもインクルーシブな状況になるとよいと感じる。
- 【山崎委員】 先生が大変。長い目ではなく、一週間とか一日単位で対応していかなければいけない。先生方の理解を深めていく必要があるのでは。
- 【山田委員】 大人の意識を変えていくことはとても大切で、大変だと思っている。
- 【中島委員】 保護者の方の声を聴いていると、3年間取組を進めてきた中で、インクルーシブ教育に理解を示してくれる保護者の方が増えてきたように感じている。
- 【和泉委員】 昨年度、授業している若い先生の姿を拝見して、こういった先生方がいれば取組を進めていける、と感じた。サポートする人が増えれば実現できる、という要求ではなく、人が足りないなら、まずは現状でどうフォローしていくか、若い人も力を発揮しながら、どう活躍していけるかを考えていくことが大切。
- 【守屋副委員長】 補助指導員や支援に入る方はどれぐらいいるのか。昨年度の昔遊びでも、こどもに個別に対応してくれる方がいた。
- 【中島委員】 補助指導員は1名だが、インクルーシブサポートスタッフ（旧：介助員）の方やスクールサポートスタッフ、配膳員なども含めると総勢100人近くの方が学校でこどもたちに関わっている。
- 【和泉委員】 1年生の5時間が多い印象。5時間も頑張れるのだ、という驚きがある。
業務量管理計画について、時間外勤務という考え方は教職員にあるのか。ウェルビーイングの向上の目標指数も、8割を目指しているのはとても高い目標だと思う。
- 【山田委員】 基本的に、時間外勤務という考えはないため、時間外在校等時間と表記している。高い目標かもしれないが、県内統一して出している目標値である。
- 【木島委員長】 多くの意見をありがとうございます。学校運営の基本計画について、承認される方の拍手を求めます。

(学校職員 3 名は、議決に加わらず。その他委員、拍手全員。承認。)

(4) 学校運営協議会実施計画について【資料 4】

重岡委員から今年度の実施計画について説明。

こどもたちの課題や目指す姿について熟議。

【中野委員】目指す姿については、丁寧な言葉のほうが、やわらかい印象があり、こどもたちにも伝わりやすいのではないかな。

【山崎委員】登校時、こどもと一緒に登校している保護者が多くなったと感じる。荷物を持ってあげている保護者もいて、学校の中での生活が少し心配になる。

【中島委員】各自登校が増えて、一緒に登校してくる保護者が増えてきていて、こどもたちが分離不安を抱えないか心配。

【山田委員】最終的には自立を目指しているが、保護者にも離れるハードルがあると感じる。

【坂本委員】それぞれの家庭に事情があり、違いがあると思う。親以外の大人と接する機会も時間も少ないのでは。また、児童数も増えてきて、こどもが学校に愛着を持ちづらくなっているのではないかな。

【木島委員長】大人に対する話し方は気になる部分もある。大人との関係の中で学んでほしい。

【山田委員】顔見知りになると、また接し方も変わってくる。

【山崎委員】目を合わせてあいさつすると、返してくれる子も多い。

【中野委員】登下校の見守りをしていて、顔見知りの子は、本当に気さくに接してくれる。

【和泉委員】実施計画は計画として案のとおりとして、こうやって話し合いながら次年度に向けて検討していくのはどうか。

【坂本委員】運動会や今フェスなど、行事の計画もこの会で聞けるとよい。

【重岡委員】学校という場で、大人と関わりを持てる機会をつくり、結果として学校に愛着がもてるように、というところを少し含んで実施計画を提出する。

(5) その他

特になし

7 そ の 他

・市の研修会、対話の場、県の生涯学習指導者研修について周知。

8 閉 会

※ 次回予定日 8 月 28 日 (金) 13:30～ CS ルーム